



# 積石塚・渡来人研究会

## 第8回 研究例会

積石塚・渡来人研究会では、今年度の共同研究テーマを「渡来系集団と地域開発」とし、1月に開催予定の総会・記念講演会に向けて取り組んでいます。今回の例会は、その「中間報告」となります。「事前申し込み不要」ですが、定員制限のため「先着 50 名」までとなります。

**日時** 令和 2(2020) 年 8 月 1 日 (土) 13:30 ~ 16:30 (受付 13:00~)

**会場** 山梨県立図書館 イベントスペース・東面 <資料代:500 円>

**留意点** 当日、事前の検温・健康チェック、および会場でのマスク着用をお願いします。

**報告 1** 大島 正之 氏 (甲斐市教育委員会)

「甲府盆地北西部の開発ー古墳と集落の関係ー」

\* 甲府盆地の開発は、いつ頃始まり、どのように進められていったか? その解明の鍵を握る古墳と集落遺跡の集中する甲府盆地北西部地域に注目し、その開発の様相を探ります。



金の尾遺跡の墓域の発掘風景  
(甲斐市大下条 山梨県立考古博物館提供)

**報告 2** 清水 芳彦 氏 (甲斐条里研究会)

「甲斐条里についてー方角地割と道の関係ー」

\* 甲府盆地には古代の方角地割である条里地割が、広範囲にわたって明瞭に残存しています。条里地割 (甲斐条里) と地域開発の関係について、さまざまな角度から考察します。



甲斐条里の痕跡 (甲府市和戸 町付近の空撮写真、推定条里区画を白線で加筆)

**報告 3** 原 正人 氏 (積石塚・渡来人研究会)

「甲斐の古代氏族ー出土文字資料からの再検討ー」

\* 古代の文献から、甲斐にどのような氏族・部民がいたかはある程度明らかになっています。近年、発見された出土文字資料 (木簡・墨書土器など) から、新たな課題を検討します。



御岳田遺跡出土「伴」墨書土器 (左) 大庭遺跡出土「刑口 (部力)」墨書土器 (右)  
(甲斐市教育委員会所蔵)

「積石塚・渡来人研究会」とは…

古墳時代から律令制の時代にかけて朝鮮半島などから日本列島に移住・定住した人びとの足跡とその意義を検証するため、考古学・文献史学などを軸とした総合的研究を行う新しい研究会です。講演会・研究例会・見学会などの催しにどなたでも参加できます。ふるってご参加ください。

<連絡・問合せ先> 積石塚・渡来人研究会 事務局 080-6724-7311 (原)